

# 平成27年度和歌山県学習到達度調査結果の概要

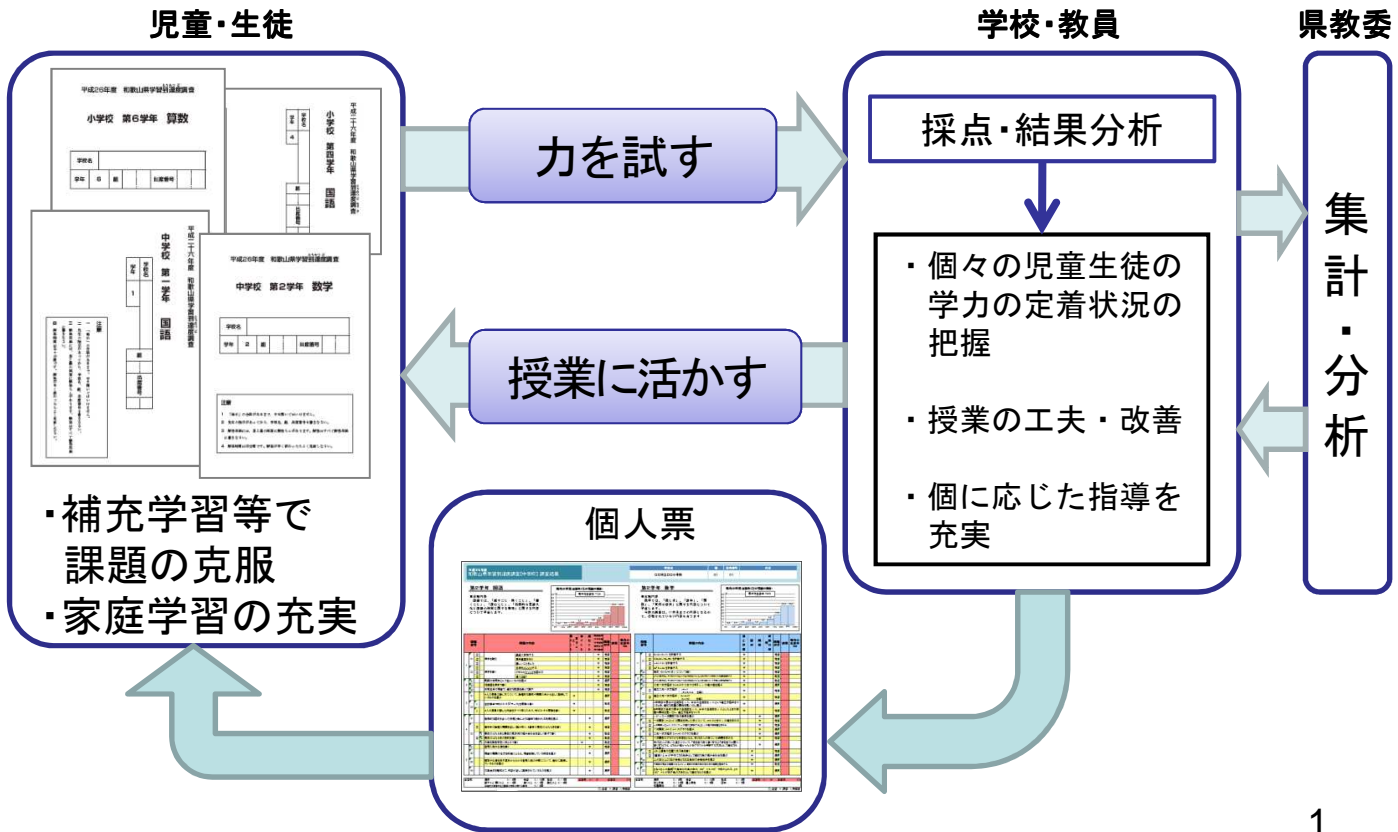
## 1 調査の概要

- (1) 調査日 平成27年12月8日(火)
- (2) 調査の目的  
児童生徒の学力の定着状況をきめ細かく把握し、指導方法の工夫・改善に役立てるとともに、個に応じた指導を充実させ、学習指導要領に示された当該学年の学習内容の定着を図る。
- (3) 調査内容
  - ①調査教科  
小学校調査は国語・算数、中学校調査は国語・数学
  - ②調査を実施した学校、児童生徒
    - ア 小学校調査  
公立小学校第4・5・6学年、特別支援学校小学部第4・5・6学年
    - イ 中学校調査  
公立中学校第1・2学年、特別支援学校中学部第1・2学年

	学校数	学年	児童生徒数	
			国語	算数・数学
小学校 (小学部)	249校	第4学年	7,584人	7,584人
		第5学年	7,737人	7,738人
		第6学年	8,221人	8,219人
中学校 (中学部)	129校	第1学年	7,656人	7,660人
		第2学年	8,018人	8,030人

### 和歌山県学習到達度調査の意義

### 調査を活かして学力充実！



## 2 結果の概要

## 小学校国語

○漢字を読むことや漢字の成り立ちに関する事項については、相当数できているが、説明的な文章、文学的な文章の解釈等に課題がみられる。

□正答率が高かった問題 ■課題が見られる問題

### 【第4学年】

□漢字の読みについては、概ねできている。

[ ① (1)①正答率96.1% 無解答率0.8% ②正答率73.2% 無解答率2.1%]

■説明的な文章の解釈において、目的に応じて中心となる文をとらえることに課題がみられる。

[ ③ (1)正答率17.7% 無解答率6.0%]

問題例p2

### 【第5学年】

□漢字の読みについては、相当数の児童ができています。

[ ① (1)①正答率94.2% 無解答率0.3% ②正答率84.4% 無解答率1.4%]

■説明的な文章の解釈において、目的に応じて文章の内容を的確におさえることに課題がみられる。

[ ③ (2)正答率11.6% 無解答率1.8%]

### 【第6学年】

□漢字三字の熟語の成り立ちについては、相当数の児童ができています。

問題例p1

[ ① (3)正答率87.2% 無解答率0.2%]

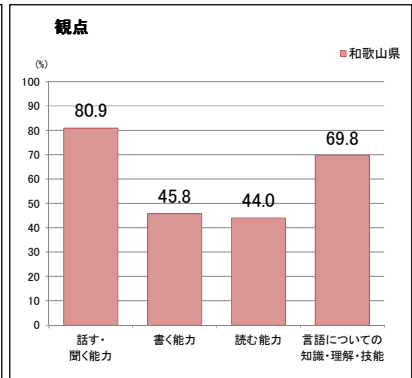
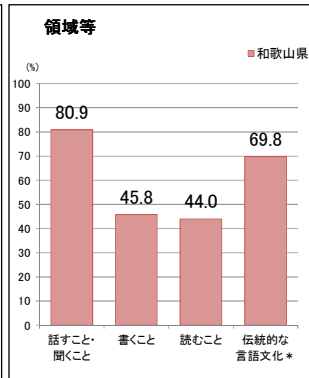
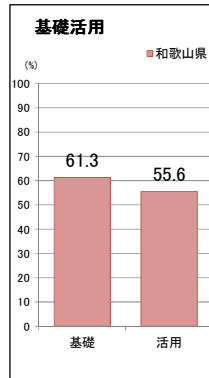
■文学的な文章の解釈において、登場人物の心情をとらえることに課題がみられる。

[ ⑤ (3)正答率37.7% 無解答率16.5%]

### 正答率の比較

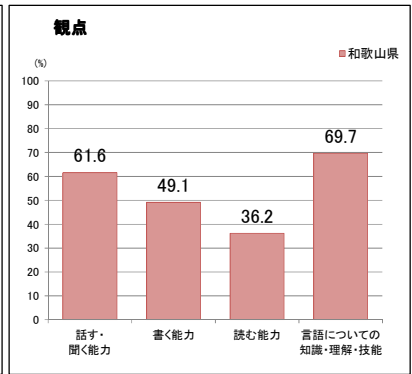
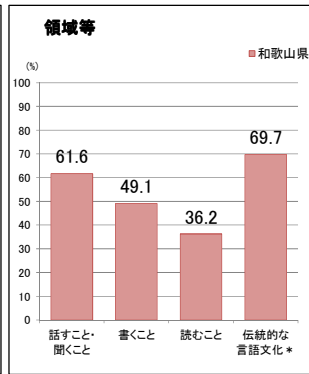
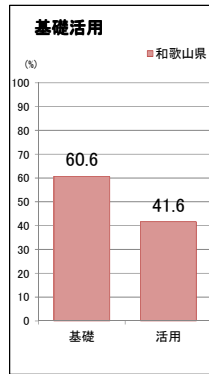
#### 第4学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
59.8	4.5



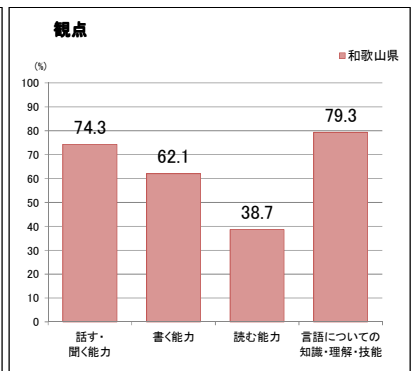
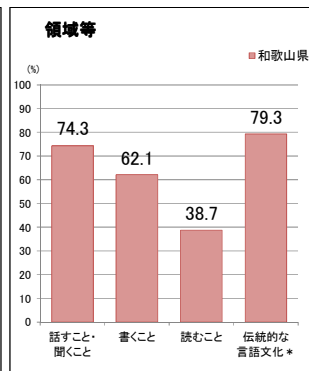
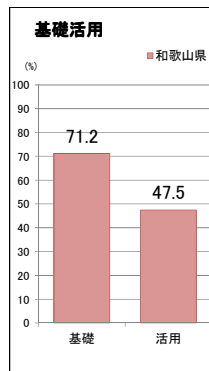
#### 第5学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
55.4	5.2



#### 第6学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
63.3	5.6



\* 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 小学校算数

○四則計算等、基礎的・基本的な知識・技能を問う問題については、概ねできているが、複数の思考過程を必要とする問題等に課題がみられる。

□正答率が高かった問題 ■課題が見られる問題

## 【第4学年】

□テープ図を用いて数量関係をとらえ、計算することについては相当数の児童ができている。

[ 4 ] (1) 正答率 84.6% 無解答率 1.7%

■2つの数量の関係をテープ図に表すことに課題が見られる。 **問題例p4**

[ 4 ] (2) 正答率 34.9% 無解答率 2.6%

**問題例p3**

## 【第5学年】

□2つの観点から分類整理することについては、相当数の児童ができている。

[ 9 ] 正答率 90.0% 無解答率 1.0%

■2つの数量関係を図を使って考えることに課題が見られる。

[ 11 ] (1) 正答率 31.5% 無解答率 1.7%

■合同な三角形をかく条件の理解に課題が見られる。 **問題例p5**

[ 12 ] 正答率 30.4% 無解答率 5.0%

## 【第6学年】

□対称な図形についての問題については、相当数の児童ができている。

[ 3 ] (1) 正答率 81.6% 無解答率 0.2% (2) ①正答率 98.6% 無解答率 0.2%

(2) ②正答率 96.9% 無解答率 0.4%

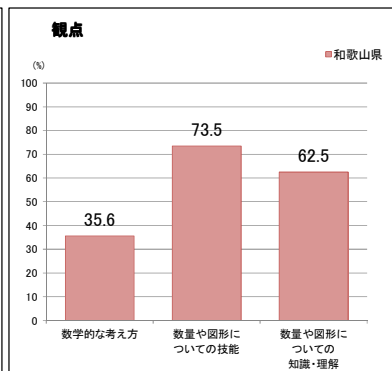
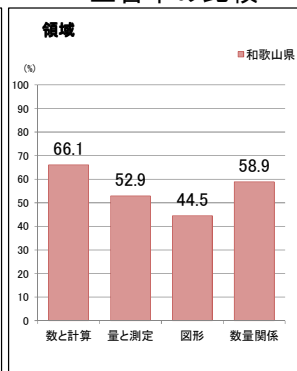
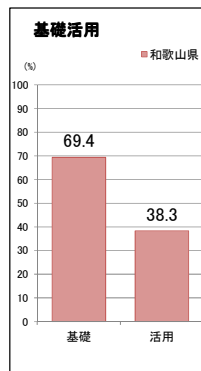
■割合の意味を理解し、比較量、基準量、割合の関係を数直線に表すことができる。

[ 12 ] 正答率 38.5% 無解答率 2.2%

## 正答率の比較

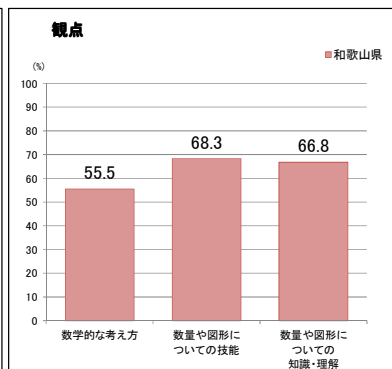
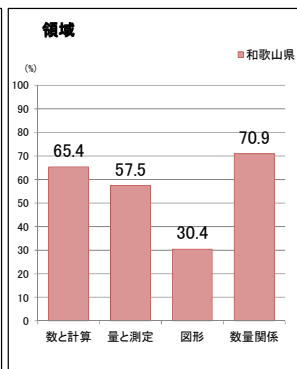
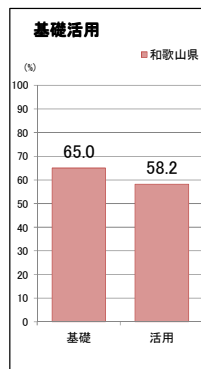
### 第4学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
60.3	3.1



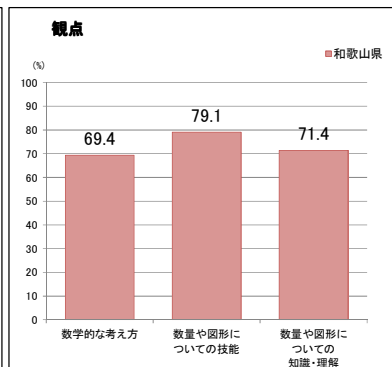
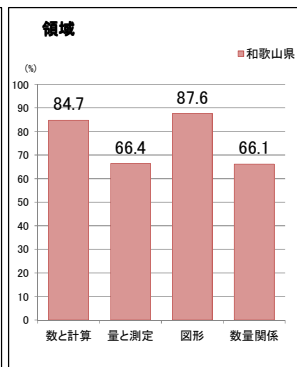
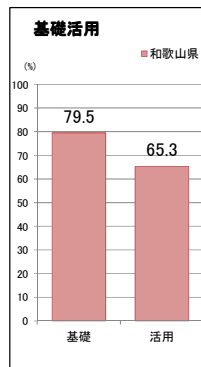
### 第5学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
62.9	2.7



### 第6学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
74.9	2.5



# 中学校国語

○漢字の読み書きについては相当数の生徒ができていますが、文章中から適切な情報を取り出した上で、問われていることを的確に表現すること等に課題がみられる。

□正答率が高かった問題 ■課題が見られる問題

## 【第1学年】

□登場人物などの描写に注意して読み、文章の内容を理解することについては、相当数の生徒ができています。

[4] (3) 正答率 87.0% 無解答率 0.6%

■登場人物などの描写に注意して読み、文章の内容を理解し、まとめることについては、課題がみられる。(記述)

[4] (4) 正答率 10.1% 無解答率 6.6%

**問題例p7**

## 【第2学年】

□漢字の読み書きについては、相当数の生徒ができています。

[1] (1)① 正答率 98.2% 無解答率 0.3% ② 正答率 94.0% 無解答率 2.4%

[2] (2)① 正答率 81.3% 無解答率 3.5% ② 正答率 87.1% 無解答率 6.5%

**問題例p6**

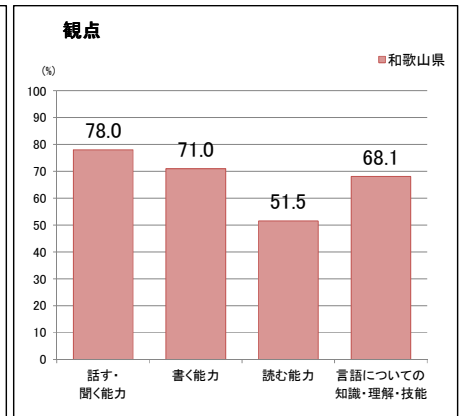
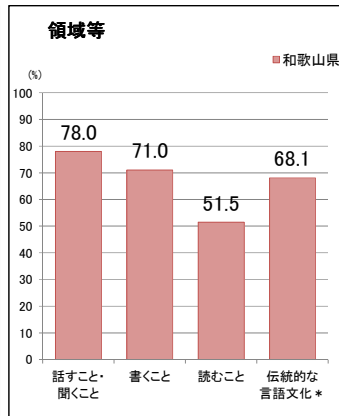
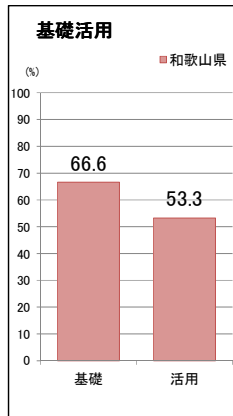
■各段落が文章全体の中で果たす役割についてとらえることについては、課題がみられる。

[5] (2) 正答率 35.8% 無解答率 1.8%

## 正答率の比較

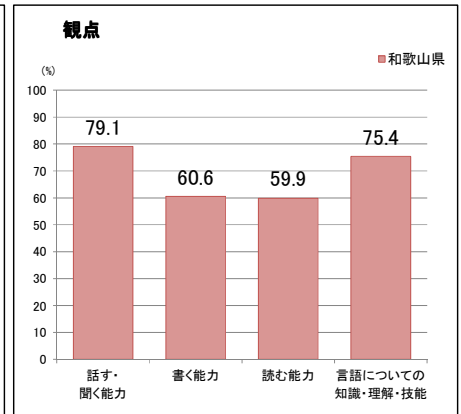
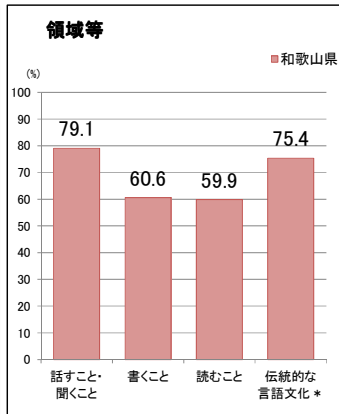
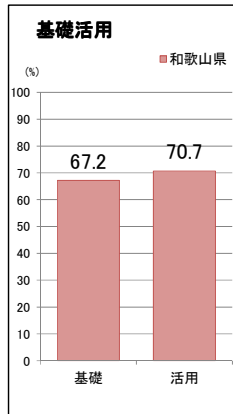
### 第1学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
62.9	4.5



### 第2学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
68.1	4.1



\* 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 中学校数学

○四則計算等、基礎的・基本的な知識・技能を問う問題については、概ねできているが、必要な情報を取り出して数学的に処理する問題、方法や理由を記述する問題等に課題がみられる。

□正答率が高かった問題 ■課題が見られる問題

## 【第1学年】

□指数や累乗の意味については、相当数の生徒ができている。 **問題例p8**

[1] (4) 正答率 84.3% 無解答率 0.3% ]

■具体的な事象において、2通りに表される数量を見だし、方程式をつくることに課題がみられる。

[6] (1) 正答率 15.1% 無解答率 15.2% ]

**問題例p9**

## 【第2学年】

□単項式の除法の計算については、相当数の生徒ができている。

[1] (1)② 正答率 86.2% 無解答率 3.6% ]

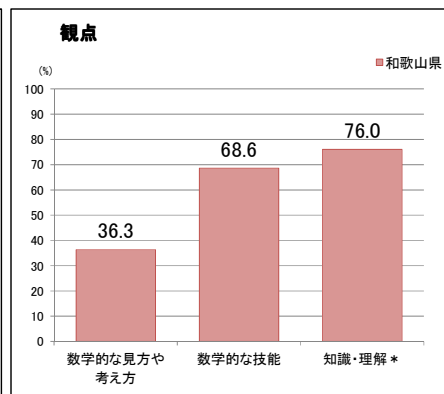
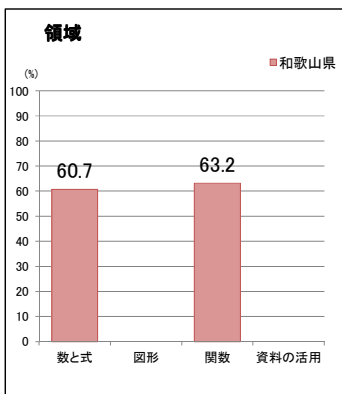
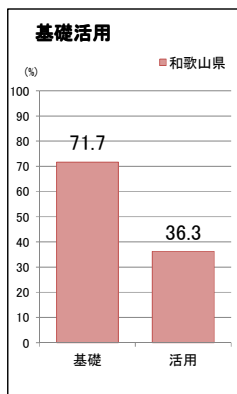
■三角形の合同条件については、課題がみられる。

[7] (3) 正答率 29.4% 無解答率 2.0% ]

## 正答率の比較

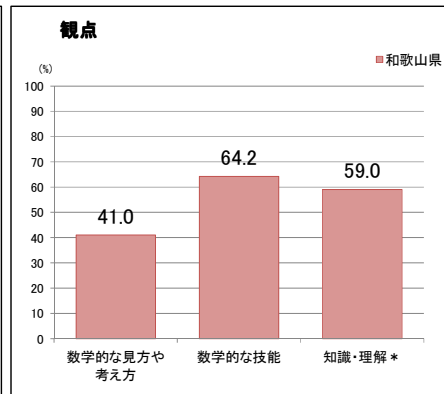
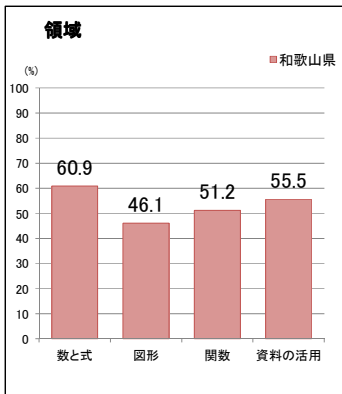
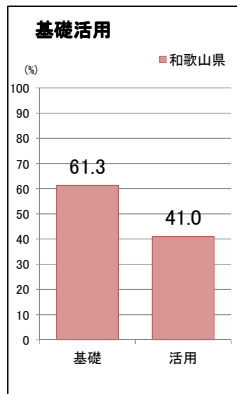
### 第1学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
61.3	5.4



### 第2学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
54.5	6.9



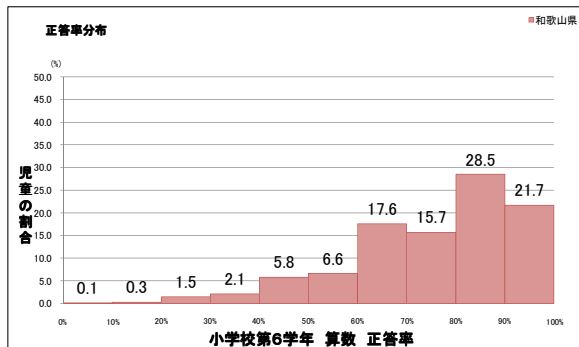
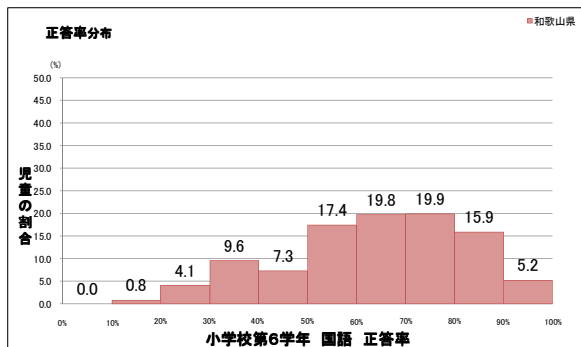
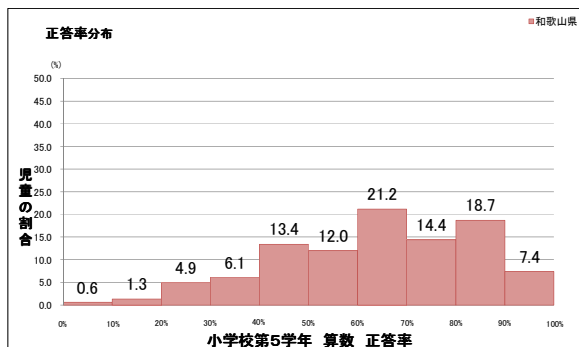
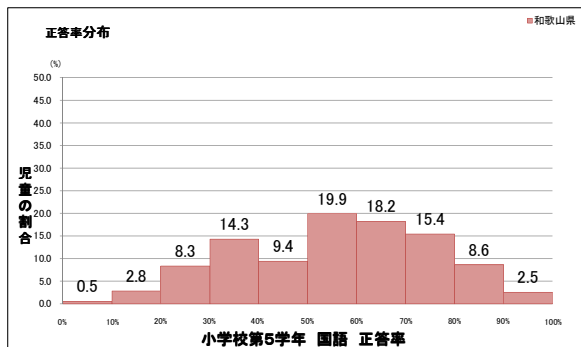
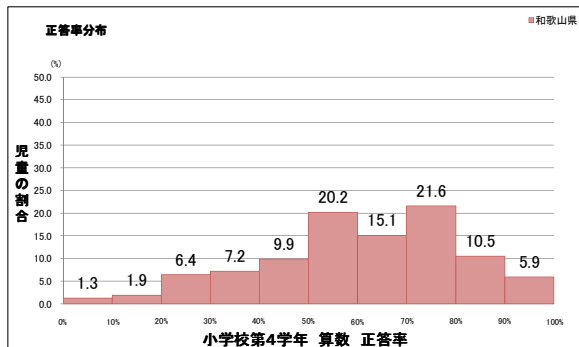
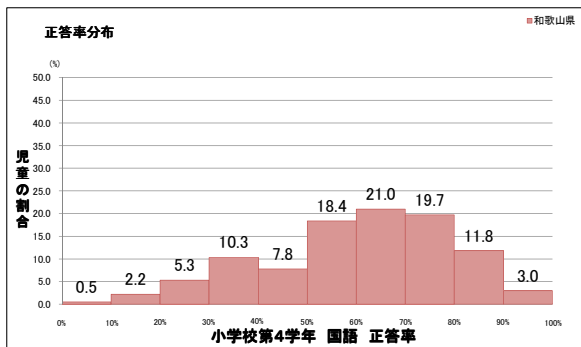
\* 数量や図形などについての知識・理解

### 3 各教科の平均正答率の分布グラフ

#### 国語

#### 小学校

#### 算数



#### 国語

#### 中学校

#### 数学

